

## 令和二年度 島根県立島根中央高等学校 入学式 式辞

国境なき新型ウィルスとの戦いに人類の叡智が試されている中でも、木々の緑は目に見えて濃くなり、季節の移ろいを感じる日々を迎えています。

ただ今、入学を許可いたしました島根中央高校十四期生の皆さん、入学おめでとう。皆さんの入学を心より歓迎します。

保護者の皆様、お子様の本校へのご入学、誠におめでとうございます。これからの三年間、責任を持ってお預かりいたします。お子様の成長のため、時には厳しい指導を行うこともあるとは思いますが、何卒ご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本校は、平成十九年四月、川本高校と邑智高校の統合に伴い、県内唯一の普通科コース制・総合選択制の高校として開校しました。「地域を愛し、夢をかなえる若人の育成～島根の中央からの挑戦～」というビジョンのもと、「まちごとキャンパス学習」や「ふるさと学」そして「世界遺産石見銀山遺跡保全活動」など、地域と連携した活動を行い、学力はもとより総合的な人間力を育成する教育活動を行っています。また、「しまね留学」として全国各地から入学を募り、地域・県内・県外の生徒が、多様な価値観を認め合い、切磋琢磨しながら成長しています。これも、寄宿舎や通学および部活動に対する支援、まち親さんからのサポートなど、地域の皆様の深いご理解と多大なるご協力のおかげであります。

さて、新入生の皆さん、今日から皆さんは正式に島根中央高校の生徒となりました。島根中央高校という集団に属したことになります。集団に属したということは、当然のことながら、その集団の規律を守る義務が生じます。そして、集団の一員としての責任が生じます。皆さん一人一人が島根中央高校という看板を常に背負っていることを忘れず、中央高校生としての自覚を持って高校生活を送ってくれることを願います。

本校には、新たな「ひと・もの・こと」と出会う機会が多く存在します。学習面でも人間的な成長においても、人生に生かせることがたくさん転がっています。あとは、皆さんの意識次第です。何をしてもらえるかではなく、自分として何ができるかを常に意識し、ここ中央高校でしか学べないことを、自らの意志で貪欲に学んでください。

高校生活は、長い人生のうちのたった三年間ですが、その人の考え方や感性の基礎が形成されるかけがえのない時期です。自分の可能性を探り、自分の限界に挑戦する。自分は今どういう人間で、これから先どんな人間になりたいのかを、しっかりと悩み考えてください。一生懸命努力したことは、たとえその場で報われなくても必ずや人生の役に立ちます。その時は嫌だ、無駄だ、無理だと思うことでも、自分に挑戦し続けてください。成功は自信につながり失敗は自分を強くします。私は、挑戦する姿勢の中にこそ大きな学びがあり、人間としての成長があるものと確信しています。

ここで、平成三十年の沖縄戦没者追悼式で、当時中学三年の女子生徒が朗読した自作の詩「生きる」から、一部紹介します。

「平和とは、あたり前に生きること。その命を精一杯輝かせて生きること。私は今を生きている。みんなと一緒に。そしてこれからも生きていく。一日一日を大切に。なぜなら、未来はこの瞬間の延長線上にあるからだ。つまり、未来は今なんだ。」

過去があるから現在があります。現在を精一杯生きるからこそ未来が拓けます。皆さんは十年後、三十年後、五十年後、どのような人生を歩んでいるのでしょうか。自分がどう生きていくのか、それを決めるのも皆さん自身です。

結びに、この広い世界の中で奇跡的に出会った島根中央高校生一人一人の高校生活が、実り多いものとなることを心から祈念し、式辞といたします。

令和二年四月九日 島根県立島根中央高等学校長 三島祐司